



動物と出会い 人と触れ合って 心のときめきをコーディネートするために — ZOO VOLUNTEER

円山動物園
ボランティア会

ふれあい・コンタクト

ニュースレター第52号 2012(平成24)年5月10日発行 発行責任者:佐藤國男(代表世話役)
〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3 札幌市円山動物園内 円山動物園ボランティア会 TEL(011)621-1426(円山動物園)

平成24年度ボランティア会の活動がスタート

～おもてなし日本一の動物園をめざして～



ごあいさつ

円山動物園ボランティア会
代表世話役 佐藤 國男

このたび、平成24年度の代表世話役を仰せつかりました。ボランティアの経験も未だ浅い私にとって大変な役目ですが、精一杯努めますので、皆様のご支援、ご指導を心からお願いいたします。

今年も園では春から可愛い赤ちゃんが誕生しており、秋には待望のアジアゾーンが完成予定等、大いに来園者の期待に応えると思います。我々ボランティアもミニツアーガイド等、工夫を凝らして種々取り組みますが、今年は新しく8期生もメンバーに加わりますので、更に充実した活動ができると思います。

園は「人と動物と環境の絆を作る動物園」を基本理念として精力的に取り組んでいますが、私たちボランティアも更に自己研鑽し、何よりもお客様に喜んでいただけるよう、心を一つにして頑張りましょう。



ごあいさつ

札幌市円山動物園
園長 見上 雄一

ボランティア会の皆様、日頃より円山動物園に多大なるご協力とご支援をいただき誠にありがとうございます。

昨年度は、円山動物園を長年見守っていた動物たちとのお別れがあった一方、4月には「は虫類・両性類館」のオープンがあり、また、マサイキリンの『ナナコ』の初めての出産等うれしい出来事もあり、開園60周年に華を添えてくれました。

今年度の大きな予定としては、現在建設中のアジアゾーンの公開が上げられます。アジアゾーンは猛獣館、ヒマラヤ館、熱帯雨林館の3棟建てになっており、それぞれ動物たちの生息環境の違いを表現しつつ、生物多様性の大切さをお客様に伝えるとともにユキヒョウやマレーバクなど希少動物の繁殖に積極的に取り組んでいくための工夫をこらした施設にしたいと考えております。

また、ハード（施設）面だけでなくソフト（サービス）面においても、よりお客さまに満足していただけるよう、『おもてなし日本一』の気持ちを忘れず、ドキドキ体験メニューの充実などお客様の『学びのお手伝い』に、より一層努力していきたいと思っております。札幌市民をはじめ来園者が、誇りをもって「わたしの動物園」と自慢できる動物園とするため、ボランティアの皆様のご協力を心からお願い申し上げます。



ハヤトはもうすぐ2歳！

どうぞよろしくお祈りします…

平成24年度 ボランティア会世話役

- 代 表 佐藤國男（やせい班）
- 副 代 表 田中一江（ワイルド班）、
藤田叶子（やせい班）
- 広 報 小熊 瞳（ふれあい班）
- 会 計 カフマン弘美（クマチカ班）
- 会計監査 山川泰弘（クマチカ班）
- 班世話役 三浦千代美（クマチカ班）、
伊藤 剛（やせい班）、
星山美千代・原 百合子（ワイルド班）、
高橋淑子・高橋しのぶ（ふれあい班）

ホッキョクグマ『アイラ』を送る会

2月19日(日)、激しく雪が舞う中、大勢のお客様が集まって『アイラ』をおびひろ動物園に送る会が行われました。

一昨年の12月25日X'mas生まれの『アイラ』は、『デナリ』と『ララ』の5頭目の子供として、この1年余入園者の熱い眼差しと『ララ』の愛を一身に集め、すくすく育ちました。姉兄たちに負けず劣らずやんちゃで初めてのプールにも物怖じ一つせず、むしろ『ララ』があっけに取られているうちに泳ぎだしてしまっただけでした。タイヤの中で寝るのとポリ容器遊びが大好きで、いつも元気一杯愛嬌を振りまく姿に、お客様たちだけでなく職員の皆さん、そして私たちボランティアはどれほど癒され楽しませてもらったことでしょうか。これから暫く寂しくなりますが、



お気に入りのポリ容器で遊ぶアイラ

帯広には兄さんの『イコロ』が待っています。仲良く元気におびひろ動物園の人気者になってください。

「おくる会」では酒井園長、河西飼育員さんからの感謝と送る言葉に続いて、クマチカ班の三浦千代美さんがボランティアを代表して挨拶を述べ、おびひろ動物園に旅立って行きました。

[クマチカ班/山川泰弘]

動物園で考える「いただきます」の意味

1月8日(日)、円山動物園を舞台としての食育教室『動物園で考えよう!～「いただきます」の意味～』を行いました。動物園という場所は、子どもたちにとって、多くの命に触れることのできる場所であり、また環境問題に目を向けるきっかけとなる場所です。その動物園で、動物を通して「食べる」という行為に目を向け、それが命をいただくということだと理解し、そしてその命を尊重し感謝する気持ちを持つことを目指して、企画しました。

集まった小学生6名とともに、動物に関するクイズからスタートしました。そして動物の観察および飼料庫の見学、まとめの授業という流れで、子どもたちの理解を深めました。クイズでは、動物の骨格について出題し、なぜそのような骨格をしているのか考えさせたことが、とくに子どもたちの興味をひいたようでした。動物の観察の場面では、普段はなかなか見られない

キーパーさん紹介

ホッキョクグマ担当

清水道晃さん

Q 当園に勤務されて何年になりますか?

A 臨時職員時代を含め飼育員歴は7年です。2年前に職員になりました。

Q 今までに担当した動物を教えてください。

A エゾモモンガやエランド、そして今春からホッキョクグマ、クロクマ、ナマケグマを担当しています。

Q 担当した動物にまつわるエピソードがあれば教えてください。

A 最近の話だと、ホッキョクグマの担当に変わってすぐのことなのですが、熊舎の掃除をしながら、ずーっと『ララ』だと思って色々話しかけていたら、実は『デナリ』だった…とか(笑)。もちろん今は見分けがつかずすよ。

Q 動物たちに接するときに心がけていることはありますか?

A たとえば、朝なら「おはよう」とか動物に声をかけることを心がけています。長く続けていると、ある日、動物の気持ちがフッとわかるようになる瞬間があるんです。あと、エランドを担当していたときは、何かあったときに治療しやすくするため、体のどこを触っても大丈夫なようにしました。

—— ども動物園のエゾモモンガの飛行訓練等、ドキドキ体験を始めた頃、多くのお客さんが感動してくれたため、動物のすばらしさを伝えるパイプ役になりたいと強く思うようになったそうです。ずっと動物と関わっていきたくて熱く語る姿に頼もしさを感じました。貴重なお時間ありがとうございました。ボランティア一同応援しています!



トラが馬肉を食べる姿などに感動したようでした。飼料庫の見学では、どのようなエサが置いてあるのかみんなで探検し、楽しんでいました。

参加した子どもたちからは、「動物を近くで見ることができて良かった」や「巨大な冷蔵庫のような建物で、動物たちのエサを見て『いただきます』の意味を学ぶことができ、貴重な体験ができた」との感想を得られました。今後、より楽しめる取り組み方などを考え、パワーアップして、またこのような食育教室を実施したいと思っています。

最後になりますが、本イベントは、千葉係長、キーパーさん、ボランティアの皆さまの多大なる協力のもと、実施することができました。改めてお礼の言葉とさせていただきます。 [ワイルド班/生出夏海]

もし、リッキーの背中を撫でるとしたら…

或る日、ライオンの『リッキー』が気持ち良さそうに窓ガラスに背をもたれて寝ている姿に見とれていた。

ふと気が付くと、その『リッキー』の背中に“くの字”に似たつむじのようなものが有って、そこを中心に毛が生えているのだ。腰の辺りにあるつむじから、背中への毛は首の方へ真っ直ぐに生えている。即ち犬や猫の毛並みとは逆の流れになっていて、逆毛？なのだ。その背中への逆毛の流れから、腕や腹の方へ流れていっている。

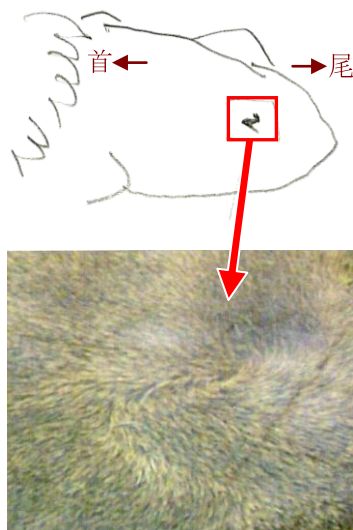
「エッ!」。ライオンの毛並みも犬や猫と同じに、首の方から尻尾の方へ向かって生えているとばかり思い込んでいたから驚きだ。とすると『ティモン』はどうなんだろう。他のシマウマやキリンは？

もし『リッキー』の背を犬猫のように撫でてやろうとしたら、腰から首の方へ撫でる事になるのかな、逆なら怒るのかな…。と、疑問や空想はどんどん広がるばかりで、暫く立ち止まってしまった。

どなたか分かる人、教えてください。

[やせい班/高瀬 哲]

リッキーの背中に“くの字”のつむじのようなものが…みなさん 見えますか？



森の小路の楽しい出会い

皆さんは動物園に来るとき、どの道を歩きますか？ 私は、円山登山口側の木の遊歩道ではなく、その一歩山側を歩きます。ここでは、小動物や小鳥に会えます。冬は足跡を見るのも楽しいです。ウサギの足跡を見つけましたが、まだ会った事はありません。この日はシマリスに会いました。今まで、エゾリス、ネズミ、蝶に会いました。サンショウウオの卵も見ました。知らない鳥や蝶を見ると名前を知りたくなります。そしてもっと会いたくなります。



愛らしいシマリス

動物の見つけ方は簡単。人が集まっている所には、たいてい動物がいます。朝・夕がねらい目です。立ち止まって大きな木の根元をぼーっと眺めてみてください。動物が目に入るはずで、大きな声を出さずに見守りましょう。 [やせい班/加藤啓子]

「レディ」お嬢様の誕生会

2月26日、チンパンジー『レディ』のお誕生会がありました。吹雪にも拘わらずファミリーの方々は50名以上お集まりくださいました。動物科学館に集合し、酒井園長の挨拶がありました。その後、祐川飼育員さんから、今の『レディ』の様子とこれからの取り組みについてのお話がありました。

『レディ』は人間に換算しますと、中学生後半に当たる時期だそうです。群の中では怪我もたくさんあり、祐川さんの力(助け)を借りることが多々あったようです。でも、これからは群の秩序や上下関係を理解し、学習していかなければならないのです。

去年の誕生会では、『レディ』だけが先に入り楽しみましたが、今年は皆が一斉に入りました。綺麗に配置されたご馳走を『チャーボー』が一番先に蹴飛ばし、ガラスを蹴飛ばし力を誇示しました。他のチンパンジー達はただ見ている、少ししてから食べ始めました。『レディ』は最後に『チャーボー』を気にしながら食べました。小さい体で、とてもいじらしいと思いました。

4月から祐川さんは、担当の動物が変わられるそうです。長い間お疲れ様でした。

[ワイルド班/藤川徳子]

春の感謝祭に参加して



❖ 『喫茶 Zoo』マスター誕生！ 赤い蝶ネクタイ、決まってるうー。

❖ 触れ合い体験コーナーにカラスヘビ(シマヘビの黒化型)。

私たちの心配をよそに、子どもたちの好奇心にはびっくり!! 「とってもめんこいね」、「気持ちいいよう～」と超人気でした。

❖ ユーラシアワシミミズクのフクちゃん登場に、会場は「ワァ～大きい」、「本物?」。シャッターチャンスの人気 No.1 フクちゃん、ありがとう!! お疲れ様でした。

❖ 3月18日 — 来園のお客様、Zoo スタッフ一同、ボランティアと三者三様共有しあい、楽しい3時間、外は細雪でした。 [ワイルド班/星原恵子]

ミニツアーガイド始まる

4月14日(土)、晴天にめぐまれました。午前10時からミニツアーガイドを実施するため、園内放送でPRするなど万全な体制でスタートしました。

センター前でお客さんを待っていると、定刻に子ども連れの家族が二組来られました。最初なので写真を取らせてもらい出発。

オオワシのところから始まり、子ども動物園に入ってミニホースをガイドし、リスザルとビーバーでは珍しく食事風景を見ることが出来、子どもさんは大喜びでした。

30分で一つのエリアをガイドするのは、少々せかさされる感がありますが…。多くのお客さんを巻き込んで賑やかなミニツアーになりました。

なお、ツアー終了後、当日の担当者で反省会を行いました。その中で、ツアー参加者・ガイドが互いに分かり合えるよう参加者にはプレートを、ガイドは旗を持つようにしたらよいなどの意見が出されました。 [ふれあい班/小熊 瞳]

'11年秋 横浜ズーラシア訪問記

横浜ズーラシアは園内を「アマゾンの密林」、「アフリカの熱帯雨林」など、地球上の7つのブロックに分けて地域固有の動物を展示しています。各ブロックには、それぞれの地にある植物を配するなどの環境演出もしています。正門に入って「アジアの熱帯林」の木立の中を進むと急に視界が開け、3頭のアジア象(♂1、♀2)が飼育員さんからホースで水を掛けてもらって、気持ちよさそうにしていました。ホッキョクグマの『ジャンプイ』(♂)は「亜寒帯の森」の一角において、泳ぐ姿を水中の大きなガラス窓越しに観ることができます。12月には、愛媛とベ動物園からメスの『パリーバ』が来て、繁殖を目指すということでした。

横浜ズーラシアでは、セスジキノボリカンガルーとか、ウンピョウ、テングザル、チベットモンキー、ツシヤママネコなど珍しい種類が多く、なかでもオカピの美しい姿には感激しました。ツキノワグマやニホンザルの広い放飼場は水量豊かに滝が流れ、他にも水がよく使われた野趣豊かな景観が印象的でした。

[クマチカ班/山川泰弘]



オカピの美しさに感激

ボランティア会が協力予定の動物園イベント

6月2・3日 … アースデイ出展

6月9日 … 虫歯予防“カバの大口拝見”

6月開催日未定 … 「ココ」「リッキー」誕生会

6月開催日未定 … ザリガニサミット

7月16日 … 動物たちへ氷のプレゼント

7月26・27・28日 … こども一日飼育係関連行事

7月開催日未定 … 「ドン」「弟路郎」誕生会

※詳細は別途お知らせします。よろしくご協力ください!

【編集後記】 昨年度のボランティア会名簿から元編集長と紙面制作者のお名前が消えました。急遽請われた新編集長のもと、スタッフが大団結。悪戦苦闘の末、なんとか第52号の発行にこぎつけました。今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。

■編集責任者：上田得一 ■編集スタッフ：小熊 瞳・松山幸子・高橋しのぶ・大地 淳・田中茂雄・田中一江・星原恵子・水戸久仁子・山川泰弘・小松久恭・成田 愛・加藤啓子 ■写真提供(ハヤト)：吉田淳一飼育員